

福島第一原子力発電所現地確認報告書

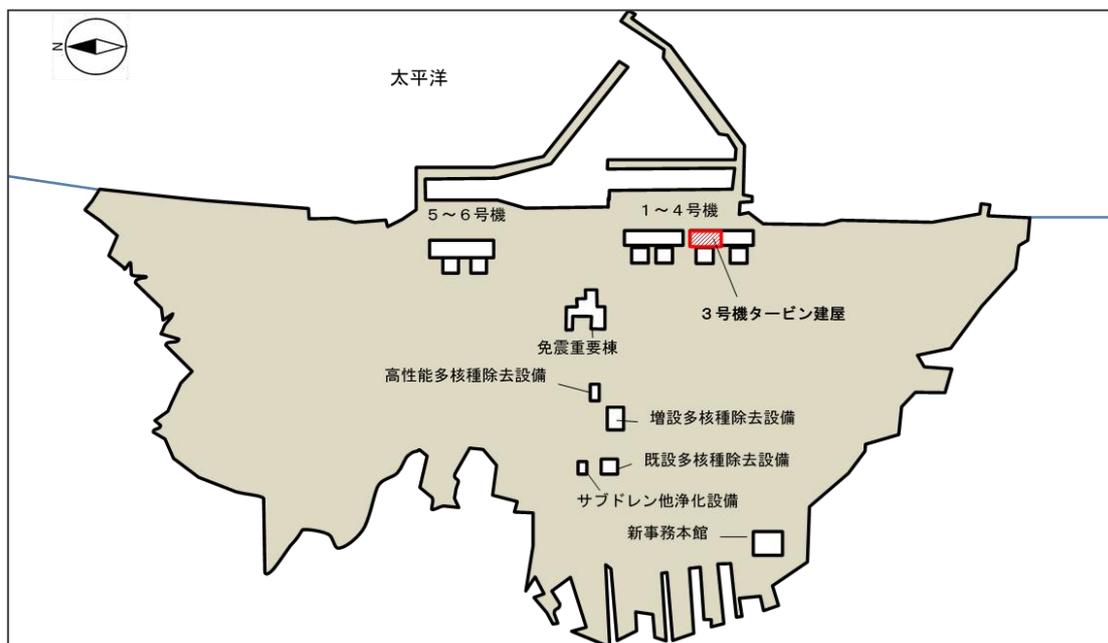
- 1 確認日
令和2年9月1日（火）
- 2 確認箇所
3号機タービン建屋屋上
- 3 確認項目
3号機タービン建屋屋根雨水対策の進捗状況
- 4 確認結果の概要

3号機タービン建屋は東日本大震災時の水素爆発の影響等により屋上部が損傷しており、損傷箇所から雨水が流入し建屋地下階の滞留水と混ざることにより、汚染水発生量増加の一因になっていた。

3号機タービン建屋屋上では雨水流入防止を目的とした雨水カバー設置に向け、放射線量率低減のためのガレキ撤去作業等が進められ、本年7月から損傷部への雨水カバー設置作業が開始されていた。その後、損傷部（2箇所）の雨水カバーの設置が8月7日に完了したことから、現況を確認した。

（写真1、図1）

- ・ 3号機タービン建屋の損傷部は北側と南側に2箇所あり、両者ともに雨水カバーが設置されていた。（写真2）
- ・ 3号機タービン建屋では屋上の簡易防水作業が進められており、東京電力によると9月末までに作業は完了するとのことであった。（写真3）



（図1）福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
3号機タービン建屋外観
(南東側から撮影)



(写真2-1)
3号機タービン建屋屋上外観
(南西側から撮影)



(写真2-2)
損傷部への雨水カバー設置状況



(写真3)
屋上の簡易防水塗装の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。